



土肥 明人所長

森永エンジニアリング

(社長)横田潔氏、本社

・東京都港区港南3-1-8

—1—は冷温水空調設備

の密閉システムを対象

に、管内のシステム水に

溶存する酸素や窒素など

の溶存ガスを除去する脱

気装置を取り扱う。同装

置は水中の溶存ガスによ

る諸問題を解消し、冷温

水配管の長寿命化に貢献

する。同社はセントラル

空調設備の冷温水設備で

密閉システムを導入して ロックによる循環障害、 例はまた少ない。たまた 解決策として脱気装置を

いる施設向けに、同装置 流水騒音、スラッジの沈 ますオーストリアに本社を 提案している」と話す。

の採用を促している。 殿、溶存酸素による酸化 置く外資系企業が日本で 密閉膨張タンク別付け

独のリフレックス社製 腐食、エロージョンコロ 研究所を設立する際、自 型の「サービテック」は

脱気装置の販売を昨年か ーションなどを未然に防 社の本社に倣って脱気装 真空下でシステム循環水

ら開始した。現在、密閉 ぐ。 置採用の空調設備を導入 から引き出した部分流を

溶存ガスがもたらす問題解消

森永エンジニアリング

循環水の脱気装置で長寿命化を

(土肥所長)という。

密閉膨張タンク一体型

膨張タンク一体型と別付 森永エンジニアリング したいとするニーズがあ の「パリオマット」は、

け型の2タイプを取り扱 大阪営業所の土肥明人所 り、当社が販売する脱気 ポンプ制御によるシステ

う。新規設備にも、既存 長は「欧州では大型ビ 装置が採用された。溶存 ム圧力保持と空気に触れ

設備にも設置することが ル、空港、データセンタ ガスによるトラブルは冷 ずに大気圧下で脱気する

可能。2タイプとも、リ ー、コンサートホールな 温水配管や機器の腐食を 方法を組み合わせた普及

フレックス社がドレスデ どの空調設備で脱気装置 招いたり、運転効率に影 タイプ。時間と労力のか

ン工科大学との共同研究 が一般的に使用されてい 響を及ぼしたりする場合 かる分散エアークレック

で開発したものの。エア ー。しかし日本での採用 がある。こうした事案の の工数削減を実現する。